

平成 24 年度

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

事業計画及び一般会計収支予算書

財団法人高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画及び一般会計収支予算書

1	はじめに	1
2	基本方針	1
3-1	自主文化事業計画	2
	(1) 高知市文化プラザかるぽーと開館 10 周年記念事業	
	(2) 優れた舞台芸術の提供による鑑賞者育成事業	
	(3) 芸術文化を創造する人材の支援・育成事業	
	(4) 市民参加による創造事業	
	(5) 学校・地域・他の文化施設との連携事業	
	(6) 顕彰事業	
	(7) 情報発信	
	(8) 中長期計画の策定	
3-2	高知市文化祭事業計画	3
	(1) 活動支援事業	
	(2) 文化祭開幕行事	
	(3) 高知市展	
3-3	中央公民館事業計画	4
	(1) 生涯学習事業	
	(2) 高知市夏季大学	
	(3) 貸館事業	
3-4	横山隆一記念まんが館事業計画	5
	(1) 企画展	
	(2) 第 8 回「まんがの日記念・4 コマまんが大賞」の実施	
	(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル 2012』の開催	
	(4) まんが体験イベント	
	(5) 資料整理事業	
	(6) まんが館開館 10 周年を記念した行事	
	(7) まんが館事業充実のための取り組み	
	(8) その他	
●	一般会計収支予算書	8
	(1) 収支予算書	
	(2) 収支予算書内訳表	
	(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
	(4) 資金収支予算書	

平成 24 年度事業計画

1 はじめに

(財)高知市文化振興事業団は、昭和 59 年の設立以来、市民と行政をつなぐ文化活動の推進母体としての役割を果たしてきた。平成 14 年には文化活動の拠点たる高知市文化プラザが開館し、市民の文化活動の振興や幅広い学習活動に資するべく、独創的な自主事業を実施するとともに、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業を受託して、市民の多様な生涯学習活動を支えてきた。

平成 24 年度は高知市文化プラザ開館 10 周年を迎えると同時に、公益財団法人として事業団が新しく生まれ変わるという意味でも、大きな節目となる年である。年度を通じて 10 周年記念事業を行うとともに、この 10 年を振り返り、新たな 10 年への展望を開く年としたい。4 月に策定となる高知市文化振興ビジョンとの整合性を図り、中長期の活動基本方針をよりいっそう効果的に事業に展開できるよう計画の検討を進めていく。

2 基本方針

- 1 特色ある自主文化事業・生涯学習事業を推進するとともに、横山隆一記念まんが館を核としたまんが文化の振興に取り組む。
- 2 高知市の委託を受けて行う市民の学習活動や文化芸術活動の振興に関する事業を、高知市との密接な連携の下で実施する。
- 3 自主文化事業においては、文化庁はじめ各種団体からの助成金導入が可能となるよう企画・立案能力を高めるとともに、独自財源の創出に努めていく。
- 4 「高知市文化プラザ活性化計画」をベースに、市民・文化団体とさらに連携を深めて事業を展開するとともに、新たな中長期計画に基づく事業の具体化を検討する。
- 5 職員の自己啓発・実務能力の向上に努める。
- 6 効果的な広報・情報発信に取り組む。

3-1 自主文化事業計画

かるぽーと開館 10 周年を記念し、4 月 7 日(土)・8 日(日)を中心に記念イベントを実施するとともに、年間を通じてかるぽーとをアピールしていく。

各事業はそれぞれ「高知市文化プラザ活性化計画」の4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。また中長期の事業団活動基本方針の検討を行っていく。

(1) 高知市文化プラザかるぽーと開館 10 周年記念事業

開館記念日である4月7日(土)・8日(日)を中心に「スペースダンス・イン・ザ・チューブ」「ワールドミュージックフェスティバル」のほか「高知市所蔵絵画展」を実施する。また大ホールで高知市文化祭開幕行事を、公民館で「市民学校体験教室」、まんが館では「常設展無料開放」「体験イベント」と、全館をあげて賑わいを演出する記念事業を実施する。

また、4月15日(日)に大ホールで高知県出身の歌手を中心とした「ガラ・コンサート“ふるさとに贈る珠玉の歌声”」を実施する。

(2) 優れた舞台芸術の提供による鑑賞者育成事業

日本や世界の優れた舞台芸術をできる限り低廉な料金で提供し市民の鑑賞要求に応えるとともに、舞台芸術に親しむ環境作りを通して鑑賞者の育成を図る。

名誉高知県人ペギー葉山氏の歌手生活 60 周年を記念したコンサートを開催するほか、(財)地域創造の助成による“公共ホール音楽活性化支援事業”2年目の事業や、高知県出身の新進気鋭ギタリストによるリサイタル、こども向け音楽プログラムなど多彩な事業を実施する。また、2年振りとなるバーデン市劇場のオペラ「トスカ」を上演する。

(3) 芸術文化を創造する人材の支援・育成事業

芸術文化を創造する人材に対し、活動の場を提供するなど支援育成を図っていく。

地元の若手美術作家を支援するため、引き続き「第8回美術作品コンクール / コンクール デ タブロー Concours des Tableaux」ならびに前年度最優秀受賞者の個展を開催する。毎回好評の美術中級講座も開催する。

演劇表現者と公共ホールの担当者が演劇の手法を活用した地域交流プログラムを企画し各地域で実施するという、(財)地域創造の“リージョナルシアター事業”の研修プログラムに参加する。

(4) 市民参加による創造事業

平成 19 年度に実施した市民参加ミュージカル「音の旅人」を(財)自治総合センターの“コミュニティ助成事業・地域の芸術環境づくり助成事業”を受け、再演する予定である。

全国で活躍する演出家・内藤裕敬氏と高知の劇団の共同制作の舞台を“リージョナルシアター事業”の成果として実施する。

また、市民の実行委員会である「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」、「詩のボクシング高知大会」との共催事業や、「高知街ラ・ラ・ラ音楽祭」開催へ協力など、市民参画事業への支援を続けていく。

(5) 学校・地域・他の文化施設との連携事業

昨年実施して大変好評であった遊びを通して経済活動を知るイベント「キッズ・フリーマーケット」をNPO法人キッズフリマの協力を得て実施する。

日本演出者協会と実行委員会との共催により、俳優・演出家養成セミナー「演劇大学 in こうち 2012」を実施する。

継続実施要望が多かった「ホリカワ・アートミーティング」をリニューアルし、アートNPO TACOと協働で開催する。かるぼーとの指定管理者である高知市文化プラザ共同企業体との共催で、大階段を使ったコンサートなどを実施する。また、事業団の主催事業としても遜色がなく内容的にもレベルが高い企画を、他団体や市民の実行委員会などと年間数本程度共同で開催していく。本年度も、市内の小学生を無料招待する「劇団四季・心の劇場」事業を予定している。

(6) 顕彰事業

「写真コンテスト・高知を撮る」は記録写真部門に時代区分を設けるなど、一層の新規応募者開拓に努める。高知出版学術賞も優れた学術研究の顕彰事業として重要度が増しており、賞の周知と出版情報の収集に努める。

(7) 情報発信

機関誌『文化高知』や「年間行事案内」の発行、ホームページの更新、高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、かるぼーとや事業団の情報を広く周知し、文化事業の認知に努める。

(8) 中長期計画の策定

職員により議論を進めてきた中長期の事業団活動基本方針を具体的に事業展開できるよう検討していく。

3-2 高知市文化祭事業計画(受託事業)

市民の文化活動を支援する高知市文化祭事業は、本年度第 64 回となる。経済の低迷とともに文化活動の停滞傾向もみられるが、そんな時代だからこそ、各市民文化団体との協働・連携を基に、市民文化の発展と継承、心の豊かさのための取り組みをより一層進めていく。今後も予算的には難しいものがあるが、事業の継続と更なる飛躍を旨として取り組んでいく。

(1) 活動支援事業

文化団体の高知市文化祭参加行事への助成事業は、平成 18 年度より助成制度を改正し、活動継続の評価を残しつつも事業内容精査の上、より必要な事業への重点配分を実施。また、その支援を通じて文化団体との連携を深め、情報収集に努める。

(2) 文化祭開幕行事

本年度は高知市文化協会に委託し、「土佐七色紙伝説～あなたという希望を胸に…～」

を上演する。戦国時代末期、いの町土佐七色紙の技法誕生にまつわる、いの町波川氏に嫁いだ長宗我部元親の妹・養甫と伊予の修験者・新之丞、安芸国虎の子・三郎左衛門の三人の数奇な物語を、劇団「ゆまにて」主宰・吉本千賀子氏が脚色・演出。演じるのは、地元神谷小学校在校生 8 名をはじめ、劇団ゆまにて・劇団 The 草・シエロクラブ・美穂川流陽和会・モダンダンス伊野友美子舞踊研究所・太平洋学園在校生、総勢 40 名。

昨年に引き続き、今年も高知市域の枠を超え、かつ異ジャンル協働で一つの舞台を作り上げる。

(3)高知市展

アンデパンダン方式の市展は、発表・鑑賞だけでなく研究の場としての役割、体験の機会の提供に一層努め、「市民の美術の広場」としての役割を果たしていく。

3-3 中央公民館事業計画(受託事業)

本年度も、これまでの事業を継続しながら、市教育委員会と綿密に連携をとり、事業の円滑な推進や事業内容の質的向上に努める。

(1)生涯学習事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化さらに社会教育、生涯学習に求められるものを把握しながら、現代的課題に対応できるよう各種講座に取り組み、多様な学習機会の提供に努める。

(2)高知市夏季大学

昨年 3 年振りに毎回千人を超える入場者のあった夏季大学は、62 回目の本年は 7 月 25 日から 8 月 7 日の 10 日間で実施する。講師については各分野の第一線で活躍する方を招き、東日本大震災後の現代日本を読み解く質の高い講義等を提供する。

(3)貸館事業

社会教育施設として設置目的に沿った利用促進を図り、市民の生涯学習の拠点としての役割を果たしていく。また、複合施設特性による大小ホール・ギャラリー等との併用利用については、指定管理者と連携し利用者の利便性を図る。

○数値目標

区 分	稼働率	備 考
中央公民館（1日3区分）	45%以上	使用回数（A）÷使用可能回数（B）

3-4 横山隆一記念まんが館事業計画

平成 24 年度に開館 10 周年を迎え、記念の年にふさわしい企画展等を実施する。高知大学との連携による「黒潮からのメッセージ」展を 7 月から、日本のまんが史を代表するまんが家二人が競作する「横山隆一・長谷川町子二人展」を 9 月から開催。また、子ども向けの体験イベントや秋の一大イベント「第 10 回まんさいーこうちまんがフェスティバル」も充実していくほか、「まんがの日記念・4 コマまんが大賞」も実施し、横山隆一の顕彰とあわせて、まんが文化の普及・振興を図っていく。

○数値目標

区 分	数値目標	備 考
展示室入場者数（有料）	10,000 人	常設展＋企画展
展示室入場者数（無料）	10,000 人	常設展＋企画展
まんがライブラリー（無料）	40,000 人	

(1) 企画展

高知県出身まんが家を顕彰するという方針のもとに、県内関係機関との連携や、地元高知のまんが家の作品等も広く紹介する企画展を実施する。

企 画 展 名	展 示 期 間
①2012 高知のまんがあれこれ展	4 月 28 日(土)～6 月 24 日(日)
②黒潮からのメッセージ ～まんがと科学のコラボ～	7 月 16 日(月)～9 月 17 日(月)
③横山隆一・長谷川町子二人展 ～フクちゃんとサザエさんの時代～	9 月 29 日(土)～11 月 25 日(日) 予定
④まんがの日記念 4 コマまんが大賞作品展	12 月 15 日(土)～2 月 11 日(月) 予定
⑤まんが・漫画・マンガ展！2012（仮）	2 月 23 日(土)～3 月 31 日(日) 予定

(2) 第 8 回「まんがの日記念・4 コマまんが大賞」の実施

横山隆一が 4 コマの名手であったことなどから全国でも珍しい 4 コマまんがに限定したまんが賞を平成 17 年度に創設し、本年度で 8 回目となる。従来のジュニア、一般、2 部門での募集を行い、ジュニア部門学校賞も継続する。表彰は「まんさいーこうちまんがフェスティバル 2012」で行う予定。

【募集期間】4 月 20 日(金) ～ 9 月 8 日(土)

(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル 2012』の開催

①11 月 3 日の「まんがの日」を中心に「第 10 回まんさいーこうちまんがフェスティバル 2012」を実施する。例年どおり市民参加型の実行委員会で企画・運営を行う。昨年は東西軸エリア活性化プラン事業の予算も加わり、中心商店街でのスタンプラリーも実施した。本年も同事業の予算が認められ、かるぽーと内にとどまらないイベント展開を予定している。【開催日】11 月 3 日(土) ～ 11 月 4 日(日)

②関連事業

春先の観光イベント土佐のおきやくにおいて「こまんさい」と題して、関連イベントを予定（3 月上旬開催予定）

(4) まんが体験イベント

まんが文化の担い手を育てるため、子どもたちにまんがに親しんでもらう体験イベントを行う。夏休みや冬休み等に、まんがを描いたり、まんがを用いて工作する機会を提供する。まんが風鈴、まんが万華鏡や缶バッジ等を予定。

(5) 資料整理事業 緊急雇用事業補助金対象 平成 21～24 年度

横山家から寄贈された約 40,000 点の資料の整理・保存。資料のシステム入力、および新規収蔵品整理を引き続き実施していく。

臨時職員の雇用は 4 月 1 日から 1 年間（1 名）を予定。

(6) まんが館開館 10 周年を記念した行事(企画展以外)

本年 4 月で開館 10 周年を迎えるため、4 月 7 日(土)・8 日(日)の 2 日間、次の行事を行う。

①10 周年ありがとう！常設展無料開放デー

これまでの来館者への感謝とさらなる館の周知のため、常設展示を無料開放する。

3 月に寄贈された横山隆一がデザインした立川親方（元関脇土佐ノ海）の化粧まわしの展示も、同日から開始予定。

②まんがで遊ぼう！！

まんがグッズを作る体験イベントを館内ライブラリー 2 において実施する。缶バッジ、エコバッグ、カレンダー、絵手紙を予定。

(7) まんが館事業充実のための取り組み

昨年度、館職員 1 名が学芸員資格を取得し、学芸員 2 名体制となった。有資格者の確保にとどまらず、研修や他の類似施設とも情報交換や交流をしながら、人材育成に取り組み、まんが館事業のさらなる充実を図っていく。

(8) その他

①館報『FUKU-FUKU』と年報の発行

②ホームページ、高知市や事業団広報枠の活用、県内外の情報誌のパブリシティ枠等での広報

③高知新聞学芸欄等、まんが文化に関する文章の掲載や、まんが関連の講座、講演の実施

④ミュージアム 88 カードラリー in 四国事業やリョーマの休日関連事業等、来館者増につながるイベントへの積極的な参加

⑤フランス・アングレーム市を中心とした「まんが都市国際ネットワーク」参加都市との国際交流

⑥日本漫画家協会、日本博物館協会等に所属し、県内外の文化施設・まんが関連団体等との連携

⑦学芸員実習生の受け入れ

一般会計収支予算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	40,000		
基本財産運用利息	40,000		
事業収益	142,734,402		
文化事業収益	15,718,000		
文化事業収益	14,495,000		
まんが館事業収益	910,000		
賛助会費収益	300,000		
出版物売払収益	13,000		
文化事業受託収益	127,016,402		
高知市文化祭事業受託収益	6,242,000		
中央公民館事業受託収益	43,460,000		
まんが館事業受託収益	41,582,402		
運営管理受託収益	35,732,000		
受取補助金等	61,265,000		
受取地方公共団体補助金	53,061,000		
財団管理運営補助金	6,249,000		
文化事業補助金	44,495,000		
文化活動等助成事業補助金	2,317,000		
受取民間助成金	8,204,000		
事業助成金	8,204,000		
受取寄付金	10,000		
文化事業寄付金	10,000		
文化事業寄付金	10,000		
雑収益	1,616,000		
雑収益	1,616,000		
運営管理事業雑収益	0		
中央公民館実習材料販売等雑収	1,519,000		
まんが館事業雑収益	97,000		
経常収益計	205,665,402		

前年度と科目
が異なるため表
示できません

一般会計収支予算書
平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	205,695,128		
役員報酬	625,000		
給料	38,683,000		
手当	26,822,000		
賃金	16,512,910		
福利厚生費	19,492,492		
交際費	30,000		
食糧費	733,000		
旅費交通費	6,118,000	前年度と科目 が異なるため 表示できませ ん	
通信運搬費	3,497,000		
減価償却費	479,726		
消耗品費	2,965,000		
修繕費	475,000		
印刷製本費	5,275,000		
燃料費	96,000		
賃借料	4,721,000		
広告宣伝費	2,220,000		
保険料	379,000		
委託費	39,153,000		
諸謝金	26,673,000		
租税公課	3,645,000		
負担金	6,432,000		
雑費	668,000		
経常費用計	205,695,128		
当期経常増減額	-29,726		
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	-29,726		
一般正味財産期首残高	50,513,197		
一般正味財産期末残高	50,483,471		
II 指定正味財産増減の部	0		
III 正味財産期末残高	50,483,471		

一般会計収支予算書内訳表
平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業							法人会計	合計
	中央公民館 及びまんが館 運営事業費	文化 事業費	中央公民館 事業費	まんが館 事業費	文化活動等 助成事業費	出版事業費	公益目的 事業合計	財団管理費	
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産運用利息								40,000	40,000
事業収益									
文化事業収益									
文化事業収益		14,495,000					14,495,000		14,495,000
まんが館事業収益				910,000			910,000		910,000
賛助会費収益					300,000		300,000		300,000
出版物売払収益						13,000	13,000		13,000
文化事業受託収益									
高知市文化祭事業受託収益		6,242,000					6,242,000		6,242,000
中央公民館事業受託収益			43,460,000				43,460,000		43,460,000
まんが館事業受託収益				41,582,402			41,582,402		41,582,402
運営管理受託収益	35,732,000						35,732,000		35,732,000
受取補助金等									
受取地方公共団体補助金								6,249,000	6,249,000
財団管理運営補助金									
文化事業補助金		44,495,000					44,495,000		44,495,000
文化活動等助成事業補助金					2,317,000		2,317,000		2,317,000
受取民間助成金									
事業助成金		204,000		8,000,000			8,204,000		8,204,000
受取寄付金									
文化事業寄付金								10,000	10,000
文化事業寄付金									
雑収益									
雑収益									
運営管理事業雑収益							0		0
中央公民館実習材料販売等雑収			1,519,000				1,519,000		1,519,000
まんが館事業雑収益				97,000			97,000		97,000
経常収益計	35,732,000	65,436,000	44,979,000	50,589,402	2,617,000	13,000	199,366,402	6,299,000	205,665,402
(2) 経常費用									
事業費									
役員報酬								625,000	625,000
給料	2,751,000	14,147,000	12,179,000	7,485,000			36,562,000	2,121,000	38,683,000
手当	5,775,000	8,808,000	7,467,000	3,420,000			25,470,000	1,352,000	26,822,000
賃金	9,187,000			7,325,910			16,512,910		16,512,910
福利厚生費	7,385,000	4,516,000	3,951,000	2,860,492			18,712,492	780,000	19,492,492
交際費							0	30,000	30,000
食糧費		612,000	22,000	94,000			728,000	5,000	733,000
旅費交通費	20,000	3,222,000	1,590,000	1,220,000	66,000		6,118,000		6,118,000
通信運搬費	1,000,000	432,000	354,000	1,401,000	242,000	10,000	3,439,000	58,000	3,497,000
減価償却費	469,726					10,000	479,726		479,726
ショップ商品売却原価	50,000								
出版物売却原価						10,000			
車両運搬具減価償却額	18,083								
什器備品減価償却額	341,163								
繰延資産償却額	60,480								
消耗品費	198,000	765,000	618,000	1,346,000	25,000	3,000	2,955,000	10,000	2,965,000
修繕費	300,000	10,000	165,000				475,000		475,000
印刷製本費	30,000	2,059,000	1,038,000	1,428,000	642,000		5,197,000	78,000	5,275,000
燃料費	96,000						96,000		96,000
賃借料	2,388,000	675,000	946,000	712,000			4,721,000		4,721,000
広告宣伝費		1,410,000		760,000			2,170,000	50,000	2,220,000
保険料	145,000	65,000	169,000				379,000		379,000
委託費	2,230,000	14,920,000	3,560,000	17,371,000	45,000		38,126,000	1,027,000	39,153,000
諸謝金	378,000	7,429,000	12,518,000	5,020,000	1,285,000		26,630,000	43,000	26,673,000
租税公課	3,631,000	8,000	2,000	2,000			3,643,000	2,000	3,645,000
負担金	8,000	6,242,000		116,000			6,366,000	66,000	6,432,000
雑費	110,000	116,000	400,000	28,000	12,000		666,000	2,000	668,000
経常費用計	36,101,726	65,436,000	44,979,000	50,589,402	2,317,000	23,000	199,446,128	6,249,000	205,695,128
当期経常増減額									-29,726
2 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									0
(2) 経常外費用									
経常外費用計									0
当期経常外増減額									0
当期一般正味財産増減額									-29,726
一般正味財産期首残高									50,513,197
一般正味財産期末残高									50,483,471
II 指定正味財産増減の部									0
III 正味財産期末残高									50,483,471

資金調達及び設備投資の見込みについて
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

期中に借入りの予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以上

一般会計資金収支予算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入	40,000	40,000	0	
1 基本財産運用収入	40,000	40,000	0	
1 基本財産利息	40,000	40,000	0	
2 事業収入	142,734,402	140,001,000	2,733,402	
1 文化事業収入	15,718,000	13,381,000	2,337,000	
1 文化事業収入	14,495,000	6,978,000	7,517,000	
2 まんが館事業収入	910,000	6,040,000	-5,130,000	
3 賛助会費収入	300,000	350,000	-50,000	
4 出版物売払収入	13,000	13,000	0	
2 文化事業受託収入	127,016,402	126,620,000	396,402	
1 高知市文化祭事業受託収入	6,242,000	6,242,000	0	
2 中央公民館事業受託収入	43,460,000	43,079,000	381,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	41,582,402	30,981,000	10,601,402	//
4 運営受託収入	35,732,000	46,318,000	-10,586,000	//
3 補助金収入	61,265,000	44,915,000	16,350,000	
1 地方公共団体補助金収入	53,061,000	43,755,000	9,306,000	
1 財団管理運営補助金収入	6,249,000	6,740,000	-491,000	//
2 文化事業補助金収入	44,495,000	34,694,000	9,801,000	//
3 文化活動等助成事業補助金収入	2,317,000	2,321,000	-4,000	
2 民間助成金収入	8,204,000	1,160,000	7,044,000	
1 事業助成金	8,204,000	1,160,000	7,044,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
5 雑収入	1,616,000	1,828,000	-212,000	
1 雑収入	1,616,000	1,828,000	-212,000	
1 運営管理事業雑収入	0	291,000	-291,000	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	1,519,000	1,537,000	-18,000	
3 まんが館事業雑収入	97,000	0	97,000	
当期収入合計 (A)	205,665,402	186,794,000	21,208,402	
前期繰越収支差額	17,371,360	16,921,360	450,000	
合 計 (B)	223,036,762	203,715,360	21,658,402	

一般会計資金収支予算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1 事業費支出	205,215,402	186,244,000	18,971,402	
役員報酬支出	625,000	654,000	-29,000	
給料支出	38,683,000	38,552,000	131,000	
手当支出	26,822,000	27,060,000	-238,000	
賃金支出	16,512,910	11,877,000	4,635,910	
福利厚生費支出	19,492,492	17,884,000	1,608,492	
交際費支出	30,000	30,000	0	
食糧費支出	733,000	308,000	425,000	
旅費交通費支出	6,118,000	5,204,000	-45,000	
通信運搬費支出	3,497,000	2,681,000	816,000	
消耗品費支出	2,965,000	3,591,000	-626,000	
修繕費支出	475,000	710,000	-235,000	
印刷製本費支出	5,275,000	5,578,000	-303,000	
燃料費支出	96,000	100,000	-4,000	
賃借料支出	4,721,000	4,235,000	486,000	
広告宣伝費支出	2,220,000	1,618,000	602,000	
保険料支出	379,000	387,000	-8,000	
委託費支出	39,153,000	36,030,000	3,123,000	
諸謝金支出	26,673,000	18,709,000	7,964,000	
租税公課支出	3,645,000	3,559,000	86,000	
負担金支出	6,432,000	6,736,000	-304,000	
雑費支出	668,000	741,000	-73,000	
2 予備費支出	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	205,315,402	186,344,000	18,971,402	
当期収支差額 (A) - (C)	350,000	450,000	-100,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	17,721,360	17,371,360	350,000	